

聖隷三方原病院精神科専門研修プログラム (聖隷三方原病院)

1 はじめに

本プログラムは静岡県西部の総合病院で構成されたプログラムです。基幹施設である聖隷三方原病院の精神科は、精神科専門病床は104床有しています。静岡県精神科救急身体合併症事業対応施設として、精神科疾患的にも身体疾患的にも入院対応する必要がある患者の治療を行っております。また、静岡県西部の精神科常時対応型施設として地域の精神科急性期治療も行っております。その他にもコンサルテーション・リエゾン、緩和医療、認知症、などの領域についても研修可能です。



連携施設研修（聖隷浜松病院・浜松医科大学医学部附属病院・ぴあクリニック）では、それぞれの施設において多彩な症例を経験できるため、精神科専門研修として多くを経験できるプログラムとなっております。

プログラム統括責任者 聖隷三方原病院 精神科部長 西村 克彦

2 目的

- ①精神科医としての基礎的な知識や治療技法を習得し、実践できる。
- ②精神医学のみならず、精神保健福祉の実態や関連する法規、社会制度などを理解し、広い視点で精神医療に携わることができる。
- ③患者や家族及び多職種とのコミュニケーションを円滑に計り、チーム医療を意識し協働できる。

以上のような精神科専門医の育成を目指し、専門研修を行います。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

当院精神科は、精神科専門病床を104床（精神科救急入院料認可病棟44床、精神科身体合併症病棟60床）を有しています。静岡県西部の精神科救急基幹病院であり、静岡県精神科救急身体合併症事業対応施設でもあることから多彩で豊富な臨床経験を積むことができます。そのため精神保健指定医申請に必修でありながら実際には数が少ない症例群も比較的容易に担当することができます。

また、コンサルテーション・リエゾン、緩和医療、認知症疾患センターの領域についても研修が可能であり、期間中に一般病院連携精神医学専門医の資格申請準備を行うこともできます。

(2) 専門研修連携施設

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院

浜松医科大学医学部附属病院

ぴあクリニック

4 専攻医受入数

2名/年

5 研修期間

3年

6 研修計画（例）

ローテーションスケジュール例

	研修施設	研修内容
3年目	聖隷三方原病院での研修 <small>1-2週間に1回びあクリニックでの研修</small>	一般外来、入院診療、 コンサルテーション・リエゾン
4年目	聖隷三方原病院での研修 <small>1-2週間に1回びあクリニックでの研修</small>	一般外来、入院診療、 コンサルテーション・リエゾン、もの忘れ外来
5年目	聖隷三方原病院 及び 聖隷浜松病院、浜松医科大学医学部附属病院での 研修	一般外来、入院診療、 コンサルテーション・リエゾン

1年目は基幹施設である聖隷三方原病院での研修を行います。統合失調症、気分障害、器質性精神障害、認知症といった基本となる疾患の患者の診療や、精神科面接の仕方、薬物療法及び精神療法の基本、リエゾン・コンサルテーション精神医学を学びます。当院は静岡県西部地域における精神科常時対応型病院ですので、通常の外来及び夜間救急外来に来院した患者の初期対応や入院対応についても経験し、入院や行動制限の手続きに必要な精神保健福祉法の知識を学習します。

2年目も引き続き聖隷三方原病院での研修を行います。指導医の指導を受けつつ、自立して、面接技法、診断や治療計画の能力を充実させ、薬物療法の技法を向上させ、精神療法として認知行動療法と力動的な精神療法の基本的考え方と技法を学びます。また、精神科救急の対応や神経症障害および種々の依存症患者の診断・治療を経験します。

3年目は聖隷三方原病院あるいは連携施設（浜松医科大学医学部附属病院、聖隷浜松病院）での研修を行います。指導医から自立して診療できるようになり、認知行動療法や力動的な精神療法を上級医の指導の下に実践します。児童・思春期精神障害およびパーソナリティ障害の診断・治療、心理社会的療法、精神科リハビリテーション・地域精神医療等を経験します。

7 問い合わせ先

聖隷三方原病院 臨床研修センター

E-mail: mk-kensyu@sis.seirei.or.jp

Tell : 053-439-1381

HP: <http://www.seirei.or.jp/mikatahara/>